

# 4人の 議員が 町政を問う。

**Q** ジオパーク設立にむけての考えは。

**A** 指定にむけて努力したい。



安藤 幹夫議員

認定に向けて国際的、国内的な運動をおし進めることが必要と考えます。

ジオパークは自然遺産を保護しつつ、それを教育、観光に活用しているところに着目するものです。

次の2項目について質問します。

**(質問)** 本町は然別湖を中心とした観光、教育を推進しています。

学校教育に自然と生態系をテーマとした地球学を取り入れており、未来をにらう子供たちの育成を目的に、本町の自然遺産である然別湖を科学教育、防災教育の場としてジオパークの

1、ジオパークの指定は本町の経済や観光誘致に大きなメリットをもたらすと思いますが町長の考えは。  
2、指定に向けてのインフォメーション機能の整備、ガイドの育成など整備計画をどのように考えますか。

安藤 幹夫議員

ジオパーク設立にむけての考えは



台蔵 征一議員

国道・道道の道路の草刈り、年に1度きりでは安全な維持管理とは思えません!



飯沼 新吾議員

更なる鳥獣被害対策を



上嶋 和志議員

民間賃貸住宅に対する家賃補助制度について



**Q** 国道の草刈りを増やし、安全できれいな道路管理を。

**A** 国に対し、道路の交換管理を提案したい。



台蔵 征一議員

発局の全国基準などについて、交通安全や道路維持管理の問題点を尋ねます。

**(答弁) 吉田町長**

道路の維持管理、国道の草刈りの打開策についての質問ですが、国の事業仕分けにより2010年より「原則として年1回」と全国一律の基準があります。しかし、地域により草の伸び方がちがいます。伸びた草は刈るのが当然との苦情も多く、国は、「走行する車の安全や、草の伸び具合を確認して実施する」と「必ずしも草刈りは1回ではない」と方針も変えて来ています。

**(質問)** 札幌圏と結ばれる道東道は10月29日に全線開通となります。接続する国道274号線は整備改良工事もすすめられ、物流、観光、生活の重要路線です。町の観光パンフレットにも「美しい農村景観と花のある国道274の街」として、道の駅や観光スポット、ビューポイントが紹介されています。

町道は、地域、各団体、町が協働して時期ごとの草刈りをするなどして交通安全と景観の維持につとめています。しかし、国道は道路の法面に伸び放題の雑草が茂っています。管理する開

国、道は予算が無いとのお役所的回答をしますが、この現状で良いと考えていません。景観上はもちろんのこと、交通安全面、道路の劣化を早める事からもマ

**(質問)** 鳥獣被害対策は計画をたて進めています。近年エゾシカの増加やアライグマの生息も確認されており、これらによるサルモネラ菌やエキノコックス等の媒介が心配されます。今後の対策を尋ねます。



飯沼 新吾議員

**Q** 更なる鳥獣被害対策を。

**A** 今後も更なる対策が必要。

国、道に対し改善がはかれるよう要請すると同時に管理のあり方について、国に道路の交換管理を提案します。



**(答弁) 吉田町長** 町では、2月に「ジオパーク学習会」を開催し、ジオ(地球大地)にかかわる様々な自然財産、地層、岩石、地形、断層など自然公園に関する学習を行っています。

ジオパークは自然遺産を保全しつつ、教育、研究、観光に活用するものであり、自然遺産の価値と活用、活動を行う人と運営組織が認定評価において重要視されます。



1、指定を受けることは本町の経済、観光の面で大きなメリットがあると考えられ、本町の一貫教育で取り組んでいる地球学の理念とも合致し、大きく町の強みになると認識しています。  
2、公的機関、地域社会、民間団体等による運営組織と財政計画が求められ、組織体制の検討が必要で、ボランティア育成の素地もあると認識しており、団塊世代以降の人々が定年をむかえる中、こうした人的資源を活用し、訪れる人々のニーズに合った専門的な知識を持ったガイドを育成します。  
ぜひともこの指定に向けて努力したいと考えます。

**(答弁) 吉田町長** キツネの箱わなを稼働させるため、箱わな所有者を訪問し自衛対策の重要性とキツネのエサとなるようなものを放置しないよう説明し、継続をお願いしています。

**(質問)** エゾシカの捕獲後の搬出と処理方法は。

**(答弁) 吉田町長** 猟友会に委託をし、パトロールと駆除を実施。今年度は町営牧場サラウンナイ牧区内に移動可能な開いたエゾシカは今後、各振興局ごとに処理施設の設置を要望していきたい。



**(質問)** 自衛防疫の改善は。

